

圧延機の仕事の合間に

心ひかれる

風景を描く

梶原利幸 水彩画集

TOSHIYUKI KAJIWARA



1995.09.05

利根の夕暮

索漠とした河原に惹かれて一枚。夕暮れも迫り帰ろうとふり向いた空が、そのまま帰るには忍びない美しさ。



戸隠残雪

雲の切れ目切れ目に露われる山肌の雪の白さに思わず息を呑む。



安曇野

初めての安曇野。北アルプスの山麓にひろがるのどかな田園地帯安曇野は「残したい静けさ美しさ」の名句がよく似合う。



安曇野は、北アルプスの山々から湧き出た清流（梓川・黒沢川・烏川・中房川）によってできた複合扇状地である。

数多くの美術館や資料館、記念館が点在しており、美術館巡りを楽しむことができる。また、「水とロマンあふれる安曇野」として、水の郷百選の認定を受けている。

谷川岳

美しさと恐ろしさを併せ持つ谷川岳。白雪の連峰は、「神々の山」もかくやと思うばかりである。



人里から離れているため植林がなく、手付かずの自然が残されているのが谷川岳の最大の魅力です。

日本海側と太平洋側の大気がぶつかる中央分水嶺のため降雨量・降雪量が非常に多く、雨や雪で浸食された溪谷がダイナミックな風景を作り上げています。

その自然の厳しさゆえに、比較的低い標高で高山植物が観察できることでも有名です。

早春を告げる花—カタクリ。谷川岳では5月ごろに見ごろを迎えます。



静物

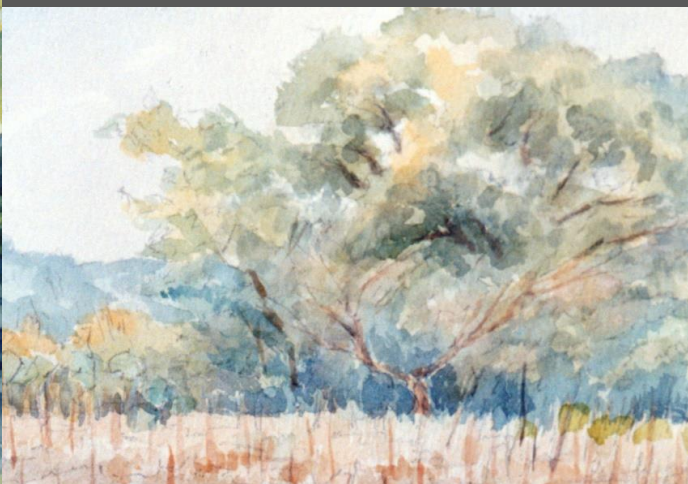
ナポレオンのこの形のブランディの瓶、最近は手に入りません。



かくて、われらは今夜も飲む。たしかに芸術は永く、人生は短い。
しかしこの一杯を飲んでいる時間くらいはある。
黄昏に乾杯を！

蓮

蓮の花は宗教的な雰囲気をかもし出します。盛花と枯葉、盛者必衰とみるか、はたまた、サイクルと観るか。



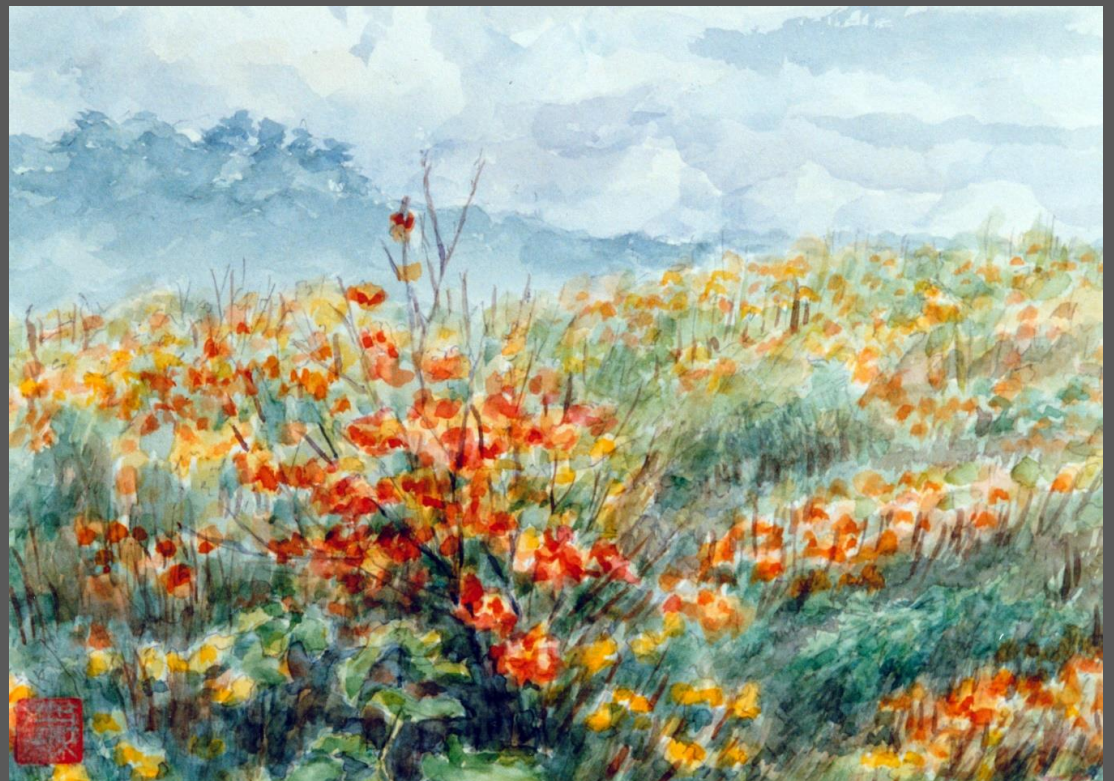
水元公園

花菖蒲



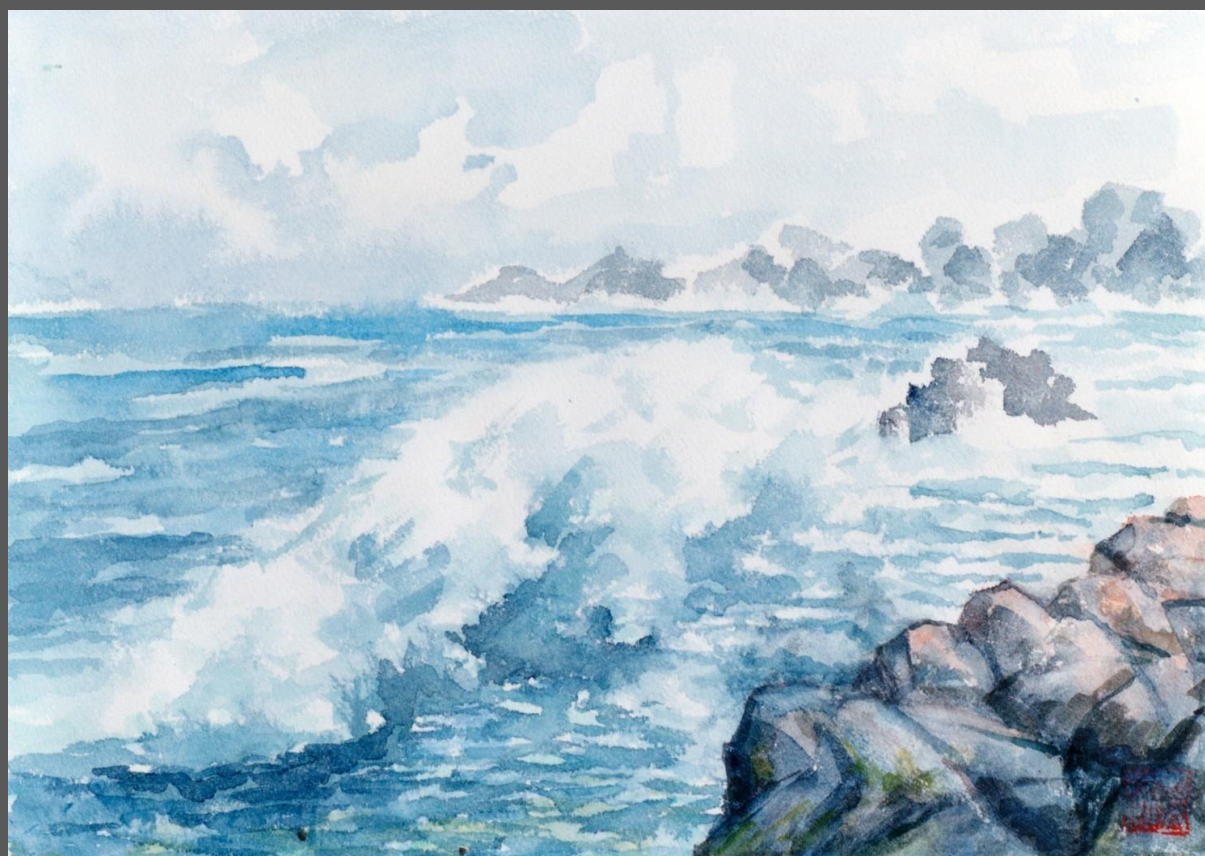
花野

秋の花達の最後の舞踏



外 房

太平洋は、ゆったりと雄大で時として、波濤逆巻く。



日立港

20年以上住みし我が家の近くの港と久慈浜の街通り。



妻籠

木曾路はすべて山の中でありました。



東京駅

東京駅のビルは格好の題材と思うのですが・・・。仲々です。

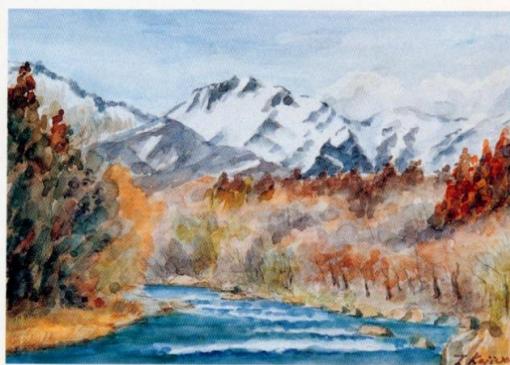


梶原利幸

水彩画展の葉

1995年9月5日～1995年9月9日

於 紫ビルギャラリー



谷川岳

御礼の言葉

本日は御多忙の処、生れて初めての小生の愚作展のためお運び戴きまして恐縮に存じますとともに誠に有難く厚く御礼申し上げます。小生の絵は小学校以来我流一本槍で参りましたが何とか感動を表現したいと念願してやって来ました。そのため、独りよがりの面多々あると存じます。

皆様方の忌憚のない御批評をお待ちしております。それこそが私にとりまして最高の師であります。

本日は本当に有難うございました。